

2021年8月12日

名古屋市長
河村たかし 様

革新市政の会 代表 早川純午

河村市長の「金メダルかみ」、セクハラ発言の 人権侵害に抗議し、辞職を求めます

河村市長は8月4日、東京五輪ソフトボールで金メダルを獲得した日本代表メンバーの後藤希友選手の表敬訪問を受けた際、「せっかくなので、かけてちょうだい。重でやなあ本当に」とメダルを自らにかけてもらい、直後に「金メダルをかむ」という常軌を逸した行為を行いました。これに対してマスコミが全国放送で放映するなど、1週間で7千件以上の抗議がメールや電話で寄せられたと報じられています。

河村市長は同日、この行為を「最大の愛情表現だった」と弁明しました。しかしその後、表敬訪問の際の市長の具体的な発言内容が新聞報道で明らかになっていますが、金メダルをかんだだけでなく、「ええ旦那をもらって」「恋愛禁止かね？」など、発言はセクシャルハラスメントそのものでした。それは、辞任に追い込まれたオリンピック組織委員会の森喜朗前会長の発言と同質で、ジェンダー平等に反する行為です。

いま、日本社会はあらゆるハラスメントを排除する方向にすすんでおり、民間会社でもパワハラ・セクハラを行った人物が社会的地位を失うのが当然となっています。

ましてや、名古屋市民の代表である市長がパワハラ・セクハラ行為を行うのは言語道断であり、市民から「早く辞任すべきだ」の声が寄せられているのは当然のことです。

革新市政の会は、河村たかし市長が後藤選手および名古屋市民に誠意をもって謝罪し、けじめをつけて市長職を辞職されることを求めます。

以 上